

ThreeBond TOMEL ENGINE UMEDA

F3 2018
JAPANESE FORMULA 3
CHAMPIONSHIP

RACE REPORT

Vol.05



第10戦/第11戦/第12戦
8月18日(土)/8月19日(日)
ツインリンクもてぎ

〒321-3597 栃木県芳賀郡茂木町松山 120-1
TEL: 0285-64-0001
<http://www.twinring.jp/>



QMI
beyond the invisible

KS Material co.

URC

KAJIMA

FUJI xerox
富士ゼロックス多摩株式会社

inoiki

ODYSSEY
ODYSSEY PARTS

Swift
SWIFT PARTS

SHIBA
SHIBA PARTS

PT01
production line

zahnen

WPC
METAL BRIDGE TREATMENT

RAVS

KRS

PATRICK

リボビタン

DESCENTE

京華小吃
Jing Hua Xiao Chi
Singapore Original Dried Noodle House

IL POLLENZA
Cappuccino - Crema

8月18日(土)~19日(日)、全日本F3選手権シリーズ第5大会(第10戦、第11戦、第12戦)が、栃木県ツインリンクもてぎで開催された。今大会は、1大会3レースイベントであり、公式予選で記録したベストラップタイムで第10戦、セカンドベストラップタイムで第11戦、第10戦決勝レースの順位で第12戦のスターティンググリッドを決定するという規則が適用される。異常気象とも言われる猛暑が続いてはいたが、レースウィークを前に北寄りの風が吹き込み、快適で過ごしやすいコンディションとなった。

▽公式予選

8月17日(金)まで行われていた専有練習走行では、笹原は上位タイムを記録はするものの、ニュータイヤを使用した時のタイム伸びしろが小さいという現象に悩んだまま、土曜日朝8時20分からの公式予選セッションに臨むこととなった。

1大会3レースイベントの規則で、週末に使用できるドライのニュータイヤは3セット。チームは、1セットはレース距離の長い第12戦の決勝レース用に温存し、2セットを使って2回のタイムアタックを行う作戦を選んだ。

笹原は1セット目のニュータイヤでのタイムアタックに入ったが、タイムは1分45秒291と伸び悩み、この時点では5番手につけた状態でピットに戻った。ピットではノーズコーンを外してフロントのロールバーおよびスプリングの調整を行い、2セット目のニュータイヤを装着してコースイン、セッション残り7分となったところで2回目のタイムアタックに入った。

笹原は1分44秒485までラップタイムを短縮したが全体のポジションは7番手に終わった。この結果、第10戦のスターティンググリッドは7番手、第11戦のスターティンググリッドは9番手と決まった。



▽公式予選 結果

	Pos	No	Driver	Team	Time	Gap
公式予選 第10戦	1	36	坪井 翔/Sho Tsuboi	カローラ中京 Kuo TEAM TOM'S	1'43.484	-
	2	37	宮田 莉朋/Ritomo Miyata	カローラ中京 Kuo TEAM TOM'S	1'43.681	0.197
	3	1	金丸 悠/Yu Kanamaru	B-MAX RACING TEAM	1'44.093	0.609
	4	93	大湯 都史樹/Toshiki Oyu	TODA RACING	1'44.345	0.861
	5	35	河野 駿佑/Shunsuke Kohno	RS FINE	1'44.347	0.863
	6	2	阪口 晴南/Sena Sakaguchi	TODA RACING	1'44.428	0.944
	7	12	笹原 右京/Ukyo Sasahara	ThreeBond Racing	1'44.485	1.001
	8	8	片山 義章/Yoshiaki Katayama	OIRC team YTB	1'44.622	1.138
	9	21	藤波 清斗/Kiyoto Fujinami	B-MAX RACING F3	1'44.732	1.248
	10	14	根本 悠生/Yuuki Nemoto	ALBIREX RACING TEAM	1'44.802	1.318

	Pos	No	Driver	Team	Time	Gap
公式予選 第11戦	1	36	坪井 翔/Sho Tsuboi	カローラ中京 Kuo TEAM TOM'S	1'43.657	-
	2	37	宮田 莉朋/Ritomo Miyata	カローラ中京 Kuo TEAM TOM'S	1'43.772	0.115
	3	1	金丸 悠/Yu Kanamaru	B-MAX RACING TEAM	1'44.180	0.523
	4	2	阪口 晴南/Sena Sakaguchi	TODA RACING	1'44.431	0.774
	5	93	大湯 都史樹/Toshiki Oyu	TODA RACING	1'44.493	0.836
	6	35	河野 駿佑/Shunsuke Kohno	RS FINE	1'44.703	1.046
	7	21	藤波 清斗/Kiyoto Fujinami	B-MAX RACING F3	1'44.767	1.110
	8	8	片山 義章/Yoshiaki Katayama	OIRC team YTB	1'44.784	1.127
	9	12	笹原 右京/Ukyo Sasahara	ThreeBond Racing	1'45.291	1.634
	10	14	根本 悠生/Yuuki Nemoto	ALBIREX RACING TEAM	1'45.537	1.880

▽第10戦 決勝

8月18日(土)午後4時10分から14周のシリーズ第10戦決勝レースが始まった。スターティンググリッド7番手からスタートした笹原は鋭い加速で6番手へ順位を上げて第1コーナーへ進入、マシンをアウトに振ってクロスラインを狙いさらに順位を上げようとするが進路を塞がれてそのままコーナーを立ち上がった。

ところが3コーナーを立ち上がろうとしたところでスピードが鈍った。「いつもならレバーを操作すればギヤが変わって加速していくのですが、空回りする感じで加速しなくなっていました」と笹原。

3コーナーから4コーナーにかけて次々と後続車に抜かれた笹原はスローダウン、1周を走り終えてピットへ帰還した。クラッチにトラブルが生じており、走行続行は不可能な状況でレースを終えた。チームは翌日の第11戦に向けてクラッチ交換の作業にとりかかった。



No	Driver	Team	Time	Gap
36	坪井 翔/Sho Tsuboi	カローラ中京 Kuo TEAM TOM'S	24'34.860	-
37	宮田 莉朋/Ritomo Miyata	カローラ中京 Kuo TEAM TOM'S	24'38.174	2.340
93	大湯 都史樹/Toshiki Oyu	TODA RACING	24'51.460	10.882
1	金丸 悠/Yu Kanamaru	B-MAX Racing Team with NDDP	24'52.098	19.277
2	阪口 晴南/Sena Sakaguchi	TODA RACING	24'53.866	23.458
8	片山 義章/Yoshiaki Katayama	OIRC team YTB	24'55.460	24.106
35	河野 駿佑/Shunsuke Kohno	RS FINE	24'59.302	40.556
14	根本 悠生/Yuuki Nemoto	ALBIREX RACING TEAM	25'05.355	43.975
21	藤波 清斗/Kiyoto Fujinami	B-MAX RACING F3	25'11.172	44.431
3	三浦 愛/Ai Miura	B-MAX RACING TEAM	25'11.588	46.016

*FL(ファステストラップ): #36 坪井 翔 カローラ中京 Kuo TOM'S F317 1'44.615 10/14 165.22km/h

▽第 11 戦 決勝

8月19日(日)も前日同様に薄曇りで涼しい風が吹くコンディションとなった。午前8時25分から第11戦決勝レースが始まった。チームの作戦としては、ニュータイヤは周回数が20周と長いシリーズ第12戦のために温存し、第11戦はユーズドタイヤで戦う作戦だった。

しかし、前日のリタイアにより第12戦のスターティンググリッドが最後尾となってしまったため上位進出は難しくなった。シリーズポイント獲得を考えたとき、9番手スタートの第11戦が有利と考えた笹原は、ニュータイヤを第11戦に投入する提案をチームに対して行い、チームもそれを受け入れてニュータイヤを装着した状態で笹原をスターティンググリッドへ送り出した。

スタート合図の瞬間、笹原は絶好のスタート加速を見せ、アウト側からオーバーテイクをかけて一気に6番手まで順位を上げた。さらに#2 阪口選手に詰め寄ると3周目の5コーナーでイン側に飛び込み順位を入れ替えた。クラッチを交換したマシンは快調で、笹原はオーバーテイクが難しいと言われるツインリンクもてぎで前走車との間隔を縮めていく。

笹原は5周目の第4コーナーで#93 大湯選手のインに飛び込み前へ抜け出すと、みるみる引き離しながら3番手を走る#1 金丸選手との間隔を縮めにかかった。他車よりタイヤアドバンテージのある笹原は、#1 金丸選手より0.5秒速いペースで追走、13周目にはその間隔を0.5秒としテルトゥノーズにまで迫り、ラストラップの90度コーナーでパスを仕掛けるもダスティな路面に止まりきれず、4位のままチェッカーフラッグを受けた。



Pos	No	Driver	Team	Time	Gap
1	36	坪井 翔/Sho Tsuboi	カローラ中京 Kuo TEAM TOM'S	24'30.472	-
2	37	宮田 莉朋/Ritomo Miyata	カローラ中京 Kuo TEAM TOM'S	24'31.920	1.448
3	1	金丸 悠/Yu Kanamaru	B-MAX RACING TEAM	24'46.748	16.276
4	12	笹原 右京/Ukyo Sasahara	ThreeBond Racing	24'46.956	16.484
5	2	阪口 晴南/Sena Sakaguchi	TODA RACING	24'50.317	19.845
6	93	大湯 都史樹/Toshiki Oyu	TODA RACING	24'52.295	21.823
7	35	河野 駿佑/Shunsuke Kohno	RS FINE	24'57.036	26.564
8	21	藤波 清斗/Kiyoto Fujinami	B-MAX RACING F3	25'01.267	30.795
9	3	三浦 愛/Ai Miura	B-MAX RACING TEAM	25'08.621	38.149
10	30	DRAGON/DRAGON	B-MAX ENGINEERING	25'09.339	38.867

*FL(ファステストラップ)：#36 坪井 翔 カローラ中京 Kuo TOM'S F317 1'44.373 8/14 165.61km/h

▽第12戦 決勝

8月19日(日)午後4時30分、第12戦の決勝レースが始まった。チームは、最後尾スタートの笹原がオーバーテイクしやすいよう、思い切ってダウンフォースを減らすセッティングをマシンに施した。

「第11戦は第10戦とセッティングはまったく変更しませんでした。4位まで追い上げられたので、このコースでもオーバーテイクができるクルマに仕上がっていたと思います。第12戦ではグリッドも最後尾なので、さらにオーバーテイクができるよう、ダウンフォースをどこまで削れるのかというレベルまで実験的なセッティングをしました」と伊与木エンジニア。そのセッティングを活かしてスタートすると、1周目、一気に12番手へ順位を上げ、2周目には9番手、8周目には8番手、15周目には7番手へ進出し、ベスト4となるラップタイムでさらに追い上げを続けた。しかしユーズドタイヤを装着していたためか、実験的なセッティングがタイヤに負荷をかけ過ぎたか、追い上げのペースは後半鈍っていった。結局、シリーズポイント獲得圏内にあとわずか届かない7位でフィニッシュした。

第11戦で4位に入賞した笹原は、シリーズポイント3点を獲得、ポイント通算26点としたがドライバーランキングは1点差の5番手へ後退した。



Pos	No	Driver	Team	Time	Gap
1	36	坪井 翔/Sho Tsuboi	カローラ中京 Kuo TEAM TOM'S	35'10.119	-
2	37	宮田 莉朋/Ritomo Miyata	カローラ中京 Kuo TEAM TOM'S	35'14.793	4.674
3	93	大湯 都史樹/Toshiki Oyu	TODA RACING	35'29.609	19.49
4	1	金丸 悠/Yu Kanamaru	B-MAX RACING TEAM	35'34.577	24.458
5	8	片山 義章/Yoshiaki Katayama	OIRC team YTB	35'43.292	33.173
6	35	河野 駿佑/Shunsuke Kohno	RS FINE	35'44.865	34.746
7	12	笹原 右京/Ukyo Sasahara	ThreeBond Racing	35'45.765	35.646
8	14	根本 悠生/Yuuki Nemoto	ALBIREX RACING TEAM	35'56.027	37.485
9	2	阪口 晴南/Sena Sakaguchi	TODA RACING	35'56.713	42.790
10	21	藤波 清斗/Kiyoto Fujinami	B-MAX RACING F3	35'57.689	45.908

*FL(ファステストラップ): #36 坪井 翔 カローラ中京 Kuo TOM'S F317 1'44.964 15/20 164.68km/h

▽ドライバーコメント

土曜日の第10戦は、さあこれからというときに加速しなくなってレースが終わってしまいました。それで第12戦のスターティンググリッドは最後尾となってしまったので、ポイントを獲得できる可能性は第11戦の方が高いだろう、そのためにニュータイヤは第11戦で使おうと考えました。皮むきも済んでいないニュータイヤで走り出したので、感触がわからないままスタートしましたが、レースを始めてしばらくすると良い感触であることがわかってきたので、そこからは攻めました。最終ラップは3番手のインに飛び込むまで行ったのですが前へ出ることができませんでした。第12戦は、最後尾スタートなので追い抜きができるよう、ローダウンフォースにしましたが、それが良かったか悪かったかは難しいところで、途中で追い上げのペースが上がらなくなってしまいました。



▽ランキング

順位	ドライバー	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	合計	点差	
		鈴鹿	SUGO	富士	岡山	もてぎ	岡山	SUGO	富士														
1	坪井 翔/Sho Tsuboi	11	12	12	11	11	9	8	12		12	12	11									121	—
2	宮田 莉朋/Ritomo Miyata	8	7	7	8	0	10	11	7		7	7	7									79	42
3	阪口 晴南/Sena Sakaguchi	5	5	3	5	7	3	1	3		2	2	0									36	85
4	大湯 都史樹/Toshiki Oyu	0	0	5	3	3	DNF	0	5		5	1	5									27	94
5	笹原 右京/Ukyo Sasahara	3	0	2	2	6	5	5	0		DNF	3	0									26	95

*DNS : Do Not Start 棄権 *DNF : Do Not Finish リタイア *DSQ : Disqualified 失格

*1位10ポイント、2位7ポイント、3位5ポイント、4位3ポイント、5位2ポイント、6位1ポイント

PP(ポールポジション)、FL(ファステストラップ)は1ポイント追加

順位	チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	合計	点差	
		鈴鹿	SUGO	富士	岡山	もてぎ	岡山	SUGO	富士														
1	カローラ中京 Kuo TEAM TOM'S	10	10	10	10	10	10	10	10		10	10	10									110	—
2	TODA RACING	5	5	5	5	7	3	1	5		5	2	5									48	62
3	ThreeBond Racing	3	0	2	2	5	5	5	0		0	3	0									25	85
4	B-MAX RACING TEAM	2	2	1	0	2	1	3	1		3	5	3									23	87
5	OIRC team YTB	0	3	0	1	0	0	0	2		1	0	2									9	101